いたるところに工夫と楽しさ！ 工業展②

～「見て」「触れて」「感じる」工業展～

さて、工業展の見どころは科別だけではありません。ここが力の見せ所だと、この三年に一度の大イベントに全精力を注いだ生徒たち。文化部とクラスの工夫がいっぱいの工業展の世界へ、レッツゴー！

文化部編

美術室を不思議な「夜」の色に染め上げた、美術部の「夜の美術館」。「たくさんの方に来ていただき、楽しんで貰えました」と苦労が実った美術部。

インテリア科の制作販売所近くにしっかり佇んでいたデザイン研究会製作「トトロ」の模型。「お腹とお尻の形にこだわった」というその姿に、写真を撮るお客さん続出。

科学部の「紙コップロケット射的」。物理室には身近な科学を体験するための道具がいっぱい。特に小さい子に人気だったのが紙コップ射的。熱く取り組んでいました。

新聞部の「折バラ教室」。写真を見にふらっと立ち寄り、ついでにバラの折り紙体験をして下さった方も。その他、日頃の練習の成果を披露した茶道同好会の「お点前」など文化部も魅せました。

▼It's a family day!!

▼となりの…♪♪♪

▶幻想に満ちた空間

▲みんなでバラ折り！

工業展こぼれ話

工業展にて出会ったALTのブライアン先生のご両親。印象に残ったものを聞くと「進水式」と。和気あいあい、笑顔がステキなご家族でした。

あったかい味に感謝

工業展が盛り上がるなか、格安で温かく、美味しい食事を提供してくださった保護者の方々。とても手際良くテキパキと繰り出される手作りのカレー&うどん。我々生徒のみならず、来場者にも好評でした。保護者の方にお話を伺うと「準備が大変だったけど、みんなが喜んで食べてくれてよかった」とのこと。本当にありがとうございました。

▼保護者の方々に感謝!!

▶「科学」の道具がいっぱい！

OB大先輩に聞く!!

工業展一日目、本校同窓会関東支部の本田武利さん（昭和三十年・造船科卒）を始め五名の関東同窓会の方がお見えになりました。五十六年前に本校を卒業された本田さんは「昔は男子ばかりでむさ苦しかったが来てみると意外に女子生徒が多くて驚いた」と昨今の違いを語られつつも「生徒の目が輝いていて圧倒されます。将来に向けてたくさん学び、経験し、世の中の役に立つ人になって欲しい」と後輩に期待を寄せられていました。

▲本田さん（左）と宮崎さん（右）

クラス編

M2の「つまようじアート」。昨年に引き続いてのモザイクアートで、見る人から口々に「芸が細かい」「すごい」との声が上がっていました。

綿あめや手作りお菓子などの食べ物も大人気。そんな中、特に装飾面にも力が入っていたI2の「フランクフルト」。味もさることながら、店舗の作りも凝っていて工夫が光っていました。

▼つまようじで「ちょーこーちゃん」

▶満員御礼！

進路 進路指導室の上野先生に聞く②

まずは問題に向き合おう！

Q進学先を決めるポイントを教えてください。

―何を勉強したいか、という気持ち。

Q大学や専門学校のパンフレットなどを見る際に気がけることは。

―どんな活動をしているかを、具体的に書いてあるかどうか。しかし実際にオープンキャンパスに行ったり、そこに行った先輩に聞くのが一番です。

QAO入試（自己推薦）を行う目的とは何なのでしょうか。

―大学側が学力だけじゃなく、もっと特徴を持った学生を必要とするため。長工生はものづくりや資格取得で専門的な経験を積んでいるので、そういった生徒を入学させることで大学の活性化を狙っています。

Qちなみに、将来海外で仕事をしてみたいのですが、できますか？

―今の会社（特に工場など）はだいたい海外に行くので、できるでしょう。工場ならば現地の人に機械の使い方などを指導して…中には向こうで工場長になる人もいます。

先生の話を伺う中で、「グローバル化」という言葉が出てきました。国際化。一言にいっても、実は単純な話ではありません。私たちが将来出ていく社会で関わらずにはいられない世界の動き。それが私たちにどのように影響を与え、どんな利害をもたらすのか。自分の将来に真摯に向き合うために、待ち受ける問題をしっかりと捉える努力をしたいものです。

▼先生、教えて下さい！

「何もしたいことが無いのに進学しても、問題を先送りにするだけ。したいことが分からない人は科の先生に相談してみるといいです」by上野先生

シリーズ 溶接1 2 3!

九州大会編①

九州大会の溶接の種類は「N―2F」。九州各県から選抜された高校生が溶接を行い出来た鉄板を競います。

十月某日。長崎から六時間かけて九州大会の地、鹿児島へ。雪が降るように当たり前に存在していた火山灰。会場のポリテクセンターに到着した際の意外な女子の多さには驚きました。先生曰く、「男子よりも女子のほうが器用。かつ根気強く溶接に取り組む」からだとか。皆さん知っていましたか。

長工からの二名の選手は大会へ向けて気持ちを高めていました。サポート役の私も県大会より緊張する始末…。（甲斐田）

▲イメトレ中!!

スポーツトピックス 駅伝

昨年よりさらに順位UP

十一月六日、雲仙小浜マラソンコースにて開催された県高校駅伝大会。昨年は二十位と大健闘の陸上部でしたが、今回もまた参加四十四校中、十五位という輝かしい成績を収めました。

大会後、キャプテンであるE2山口眞之介君に大会を振り返っての感想を聞きました。

「全員がベストな走りで、昨年よりもタイムが五分速くなったので満足。次の大会では、もっと上位に入ることを目指します」と、さっそく次の大会に向けての抱負も含めてのコメント。顧問の近藤先生は、「よく頑張りました。力どおりの走りはできたけど、もっと上位に食い込みたかったな」と話されていました。

陸上部のさらなる順位UPを期待しています。

▼躍進の陸上部！

▲皆で繋いだ襷（たすき）

編集後記

工業展が終わり、一息つけるかと思いきや工業展号に追われている新聞部です。もし一日が四十八時間あったら…なんて考えては時間の無駄だと怒られる日々。ひいひい、もう虫の息です。それでも隅から隅まで愛情と「早く完成しろ」という思いを込めて新聞を作っています。

そういえばもうすぐ期末テスト。新聞と勉強、どっちをとるべきなのか…もちろん両方ですとも。

におうわ！ てふち生!!!

～○○は20歳から～

※実はほちみつの香り

かおりは　ほどほどに。